

令和5年度 全国学力・学習状況調査のまとめ

富士吉田市教育委員会

本年度実施された全国学力・学習状況調査の結果並びに考察がまとまりましたので、本市の生徒（第3学年）の学習・生活状況の概要についてお知らせいたします。

- 実施日時：令和5年4月18日（火）
- 参加者数：中学校4校 3年生 378名

1 学習の状況について

(1) 全体の結果

教科	国語	数学	英語
中3年	全国・県とほぼ同等	全国・県とほぼ同等	全国・県とほぼ同等

(2) 各教科の状況について

○＝平均正答率が高い問題 ●＝平均正答率が低い問題

	出題の趣旨
国語	○目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる。 ○聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができる。 ●文脈に即して漢字を正しく書くことができる。 ●文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることができる。
数学	○数と整式の情報の計算ができる。 ○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 ●空間における平面が同一線上にない3点で決定されることを理解している。 ●ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる。 ●条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができる。
英語	○情報を正確に聞き取ることができる。 ●日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 ●日常的な話題・社会的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる。 ●日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。 ●未来表現や疑問文を理解し、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けている。

(3) 学習状況の考察

①全体の状況

- ・教科に関する調査の平均正答率は、国語・数学・英語ともに、全国平均・県平均と比べて、±5%の範囲内にあり、ほぼ同等です。国語・数学は、全国平均・県平均を上回っており、英語は、県平均を上回っています。（文部科学省では、±5%の範囲内であれば、差はないものと判断できると示しています。）
- ・全ての教科において、無回答率の割合は全国・県に比べて低いですが、最後まで解答しようとする姿勢が伺えます。
- ・国語・数学の「記述式」が、全国平均・県平均を上回っていますが、英語は下回っています。

②各教科の状況

○国語

- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことの正答率が高くなっています。
- ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することの正答率が低くなっています。

- ・読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることの正答率が低くなっています。

○数学

- ・数と整式の乗法の計算、問題場面における考察の対象を明確に捉えるでは、正答率が高くなっています。
- ・事象の中にある2つの数量の依存関係に着目して解答する問題において正答率が低くなっています。
- ・問題文やデータを正確に読み取り、根拠を明確にして自分の言葉で説明したり証明したりする設問に対する正答率が低くなっています。

○英語

- ・短い情報を正確に聞き取ることは比較的できています。
- ・未来表現 (be going to) の肯定文や疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことの正答率が低くなっています。
- ・話すことについては、全国的に正答率が全て20%以下と低い数値であり、本市も同様のことが言えます。習得した知識技能を活用してやり取りする問題に対して、正答率が低くなっています。

2 生活習慣や学習環境等に関する結果について (生徒質問紙による意識調査)

望ましい状況○ 課題と見られる状況●

- 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 学校の部活に参加していますか。
- 学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法をきめていますか。
- 今回の国語や数学の書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- 新聞を読んでいますか。

■主な傾向・課題

- ・困っている人がいたら助ける、いじめは許されないなど、高い規範意識を持っている様子が伺えます。
- ・仲間との関わりを通して協力したり、意見を交換したり、共によりよく生活している様子が伺えます。
- ・学級内で言語活動が活発に行われ、互いの関わりを通して、考えを広げ、深めたりする様子が表れています。
- ・計画的に学習をすることに課題が見られます。

3 今後の取組について (学力の向上に向けて、本市において次の取り組みを推進します。)

- 国語の授業において、自分の考えが伝わる文章になるように、図表やグラフを用いるなど、根拠を明確にして書く活動を充実させていきます。文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする指導を充実させていきます。また読書指導の充実を図っていきます。
- 数学の授業において、「数学的な見方・考え方」を働かせ、「数学的活動 (①日常の事象から見いだした問題を解決する活動, ②算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動, ③数学的に表現し伝え合う言語活動)」を積極的に行います。
- 英語の授業において、基本的な語や文法事項等を理解し、必要な情報を聞き取ったり、文章の概要を捉えたり、自分の考えを書いたりする学習活動を充実させていきます。また習得した知識及び技能を活用し、実際のコミュニケーションの場において、即興で伝え合う学習活動を充実させていきます。
- 朝学習や家庭学習において、一人一台端末を活用してドリルパークやeライブラリでの反復練習を継続的に行い、基礎基本の定着を図ります。

自己有用感や規範意識が高く、夢や希望をもって生き生きと学校生活を送っている子どもたちです。今後も、子どもたちが一層がんばっていけるよう、家庭、学校、地域で連携を深めていきましょう。

問 い 合 わ せ 先
 富士吉田市教育委員会 富士吉田市立教育研修所
 TEL 0555(22)1111(内線515) 直通 0555(23)1766